

## “空気が、オイシイ。地球が、ウレシイ。” さらに進化したビーバーエアコン新シリーズを発売

省エネ性と快適性を兼ね備えたビーバーエアコンが、2010年省エネ基準をクリアして新たに登場。2月中旬から新シリーズ全18機種を順次発売しています。少ない電力でしっかり冷暖房を実現できる、三菱重工独自の技術を多数導入したのが特徴です。

発売機種は、6～20畳向け高級タイプ「SLシリーズ」7機種、6～14畳向け高機能タイプ「RLシリーズ」5機種、6～18畳向け標準タイプ「TLシリーズ」6機種。いずれの機種にも、一段と進化した「バイオクリア運転」機能を搭載し、酵素と尿素の力で花粉やカビ、ダニ、細菌、ウイルスなどの活動を抑制・分解<sup>\*1</sup>します。

SLシリーズは、お部屋にいる人の場所によって部分的に空調したり、お部屋全体を空調できる「エリア空調」機能や、「ジェット冷房・暖房」機能が魅力。エコ運転やバイオクリア運転などさまざまな機能により、少ない消費電力でお部屋の空気をいつも新鮮・清潔に保ちます。RLシリーズは、コンパクトボディに6パターンのエリア空調機能をはじめとする最新機能を備えました。夏は天井から冷風が降り注ぎ、冬は床面から暖める「冷風シャワー・足もと暖房」

機能、適温に調節して除湿する「再熱除湿」といった機能も搭載しており、高機能タイプならではの快適性を届けます。そして、標準タイプのTLシリーズも、12畳用と14畳用で2010年省エネ基準104%を達成するという性能のよさを誇ります。

“空気が、オイシイ。地球が、ウレシイ。”をコンセプトに、一段と進化したビーバーエアコンは、多様な生活シーンに合わせて快適な空調を提供します。

<sup>\*1</sup>  
【試験機関】独立行政法人国立病院機構相模原病院No.1536【試験方法】比色ELISA法・蛍光ELISA法により確認【試験結果】コナヒョウヒダニ83.5%抑制、ヤケヒョウヒダニ93.6%抑制  
【試験機関】独立行政法人国立病院機構相模原病院No.1536【試験方法】比色ELISA法により確認【試験結果】スギ花粉72.7%抑制、ネコ上皮83.5%抑制  
【試験機関】財北里環境科学センター 北生発15-0145【試験方法】TCID50(50%感染価)の測定により確認。ウイルス99.9%抑制  
【試験機関】財日本化学繊維検査協会【試験方法】カビ抵抗性評価JIS Z 2911乾式法により確認【試験結果】カビ菌糸の発育なし(4週間後)



ビーバーエアコン RLシリーズ

## 海洋資源の探査・開発に貢献する調査船を受注 下関造船所で今夏起工予定

海底は、新たな資源や地球の謎を秘めた未知なるフロンティア。当社は、独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構から、日本周辺の海域に存在する海洋資源の探査、開発を加速するための海洋資源調査船を受注しました。

同船は、大型掘削装置など各種調査機器を搭載し、海底熱水鉱床、コバルト・リッチ・クラスト鉱床などの海底鉱物資源や、メ

タンハイドレートなどエネルギー資源の調査を行います。推進性能が高い船型と電気推進システムを採用しており、燃料消費およびCO<sub>2</sub>やNO<sub>x</sub>などの排出を最小限に抑制するなど、地球環境に配慮した調査活動を行うことができます。

2012年1月の引き渡しを予定し、下関造船所で今夏に起工します。

## 非食用植物を原料にしたバイオエタノール製造を 神戸造船所二見工場内の施設で実証中

当社と白鶴酒造(株)、関西化学機械製作(株)の3社は、神戸造船所二見工場内にバイオエタノール製造実証施設を建設し、2009年12月から本格稼働をスタートさせました。

バイオエタノールは、石油などの代替燃料として需要が拡大しています。しかし、これらはサトウキビやトモロコシの実などを原料とするものがほとんどで、穀物の価格高騰の誘因のひとつとなっていました。こうしたことから、非食用植物を原料としたバイオ燃料製造技術が注目されています。

本プロジェクトでは、稲わらや麦わらといった非食用植物のソフトセルロースを用いながら、従来のエタノール製造手法とコスト競合できる生産効率の高い技術の確立を目指しており、当社は、酸やアルカリを使用しない水熱分解法を用いた前処理工程と糖化工程を担当しています。発酵工程においても、遺伝子組換え酵母を使用しないなど、環境に配慮した手法での実証に取り組むこと

で、国内農業と共存共栄できる地産地消型のソフトセルロース利用の道を拓くことを目指しています。

非食用の草本系植物を連続して前処理することが可能な設備の開発は国内初。今後も3社の技術を活かし、非食用植物からバイオエタノールを製造する商用技術の早期確立と普及に向けて、実証試験に精力的に取り組んでいきます。



バイオエタノール製造実証施設

## グローバル市場の開拓を推し進めるため コンプレッサ事業専門の新会社を発足

2010年4月1日、当社はコンプレッサ事業専門の新会社「三菱重工コンプレッサ(株)」を発足。機械事業部のコンプレッサ事業と、同事業のアフターサービスを担当していたエム・エイチ・アイ・ターボテクノ(株)が統合した、当社100%出資会社です。

エチレン、肥料、メタノールなどの化学分野向け、また、ガス処理、LNGなどの資源・エネルギー分野向け、どちらもコンプレッサ市場は中長期的には拡大基調にありますが、競争は今後激化

すると予想されています。当社のコンプレッサ事業は、化学分野向けではトップクラスのシェアを占める一方で、資源・エネルギー分野向けではまだ開拓の余地を残しています。

新会社設立により、今後はオイル&ガスメジャーなどへの営業強化、拡大する新興市場へのエキスパートの投入などにより、新規市場の開拓や海外拠点の強化・拡充などを強力に推し進め、さらなる事業拡大を目指していきます。

## 中国に地域統括会社 「三菱重工業(中国)有限公司」を設立

2010年1月、当社は中国・北京に、地域統括会社「三菱重工業(中国)有限公司」を設立しました。成長を続ける中国で、当社の総合力を発揮できる仕組みを構築し、新たな商機の獲得を目指します。

都市開発や省エネ・環境対応など、大型プロジェクトの開拓に取り組むとともに、より高い経済成長が見込まれる中国内陸部

(中西部)に複数の同社連絡事務所を設置し、独自の情報ネットワーク構築を図っていく計画です。また、2月には上海分公司(上海支店)も開設しました。

今後も高い経済成長を続ける中国において、社業を通じて豊かな社会生活の実現に貢献していきます。

## 大型原子力タービンの生産を担う ローター、鍛造翼の専用工場が竣工

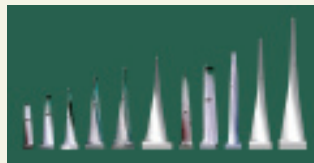
高砂製作所において、原子力タービン主要機器の専用工場が、それぞれ2009年9月、2010年1月に竣工、操業を開始しました。

原子力タービンは、回転体であるローター（タービンの軸）と、これに取り付ける鍛造翼などで構成されています。

今回の専用工場は、発電出力の大型化に対応するとともに、全工程の一貫生産により、高品質と生産性の向上を実現しました。

これにより世界最大級の170万kW級加圧水型軽水炉（PWR）

であるUS/EU-APWR等に採用される超大型70インチクラスも含めたタービンの量産供給体制が整備されました。



上／鍛造翼  
左／タービン



高砂製作所に竣工した原子力タービン（ローター）専用工場

## ベトナムのハノイ工科大学に 原子力に関する寄付講座を開設

当社は、技術系の総合大学であるハノイ工科大学に「原子力発電所エンジニアリングに関する講座」を平成22年12月に開設予定です。

当社から原子力技術者を講師として派遣し、原子力・環境工学の学生を対象に、原子力発電所の設備・運営に関する専門技術の講義を行います。

この講座は、年に30時間の講義で、修了者には単位認定がされるほか、成績優秀者を日本に招待し、当社工場や原子力発電所等での見学研修も行う予定です。

当社は、原子力分野における豊富な経験と実績を活かし、この講座を通してベトナムの原子力の発展、原子力事業の将来を担う人材育成に貢献していきます。

## 「三菱重工チャリティーオペラ2010」 昨年に引き続き今年も開催

多くの子どもたちに本格的な芸術・文化に親しむ機会を提供したい。そんな思いから、「三菱重工チャリティーオペラ2010」を2月に開催しました。このチャリティーイベントは、本社総務部が中心となって運営しています。

ご招待した東京都港区内の小学校や、特別支援学級、児童養護施設などの子どもたちは、劇団「オペラシアターこんにゃく座」による本格オペラ『ピノッキオ』を鑑賞。また公演前には、コミュニケーションロボット wakamaru や MRJ (Mitsubishi Regional Jet) の模型などを展示し、会場を盛り上げました。

今後も、このようなイベントを通して、当社の社会貢献活動の柱である「地域貢献」と「次世代育成」に力を注いでいきます。



子どもたちが夢中で鑑賞した『ピノッキオ』の公演